



マッカイ市に行ってきました！

—第23回松浦市青少年親善使節団—

8月7日から14日までの8日間、「第23回松浦市青少年親善使節団」が松浦市の姉妹都市であるオーストラリアのマッカイ市を訪問しました。

訪問したのは、市内の中高生14人と引率者2人。滞在中は、ホームステイや学校訪問などを体験し、マッカイ市民との交流を深めました。

青少年親善使節団の ひとこと感想



▲ 上空から見たマッカイ市



▲ 収穫したばかりのサトウキビを味見

北嶋 里奈（九州文化学園高校2年）
この事業に参加して、とても貴重な経験をたくさんすることができました。

吉田 海里（伊万里商業高校2年）

この訪問を終えて一番学んだことは、コミュニケーションを取ること。そしてコミュニケーションを取るには笑顔が大切だということです。

濱崎 優希（松浦高校1年）

ホストファミリーは、不安と緊張があつた私を温かく迎え入れてくれました。

山下 凜花（松浦高校1年）

私を家に受け入れてくれたホストファミリーとすごした時間は、かけがえないものになりました。

鴨川 里佳（伊万里高校1年）
広いマッカイで「松浦」の文字を見ると松浦が大切にされていて、交流もとても深いんだと思いました。

久家菜々実（御厨中学校3年）

楽しかったことは、ホストファミリーと過ごした時間です。この旅行は最高の思い出になりました。

鳥越 夏純（御厨中学校3年）

小学校訪問では、言葉もジェスチャーも通じなかったけど、一緒に過ごすことが楽しくてしかたなかったのは、「楽しい」という感情を「笑顔」という共通の表現方法で示したからだと思います。

福守生央史（御厨中学校3年）

日本にいただけでは、見ることも感じることもできない経験をしました。マッカイの人々の優しさに感動しました。



▲ セントラル・ステイト・スクール訪問



▲ マツカイ空港でウィリアムソン市長が団員を歓迎



▲ 松浦通りの標識の下で



▲ パーティーで「リズムなぎなた」を披露



▲ 松浦市の特別住民ビル・モロイさんと



▲ サリーナ・ハイスクール訪問



▲ ビスケット作り



▲ マツカイのビーチで

大塚 彩香 (志佐中学校3年)
マツカイの皆さんは、フレンドリーでとても優しくかったです。すぐに仲良くなることができました。

小川 日菜子 (志佐中学校3年)
勉強不足を感じる時がたくさんあったので、もっと英語を勉強して、またマツカイに行きたいです。

早田 幸多 (今福中学校3年)
日本とオーストラリアの文化の違いを知ることができ、とてもよい経験になりました。

川村 愛加 (福島中学校3年)
この8日間で英語がもっと好きになり、話せるようになりたいと強く思いました。



▲ サーフクラブのユニフォームを着て



▲ 姉妹都市誕生が記された壁

豊川みなみ (福島中学校3年)
パーティーでは、現地の人とたくさんふれあえて、すごく盛り上がりつつ楽しい時間を過ごすことができました。

土谷 成美 (福島中学校3年)
たくさん体験して学んだことを、これからいっばい役立てていきたいです。